



# 園だより

みなみ  
11がつ

令和7年11月1日  
目黒区立南保育園園長

先日前庭で1, 2歳児クラスの子どもたちが一本橋を設定して遊んでいた時のことです。2歳児クラスの子どもたちには簡単な設定なので、すいすいと渡っていますが、1歳児クラスの子どもたちには少し難しく、かなりペースダウンします。同じクラスの子どうしの際は「はやくー」と前の人を押したり、順番でもめたりする姿もありますが相手が自分より小さい子だと違います。相手のゆっくりとしたペースをじっと見守る姿がありました。クラスの友達との関わり、自分より小さい子や大きい子との関わり、いろいろな職種の大人との関わりなど、保育園には子どもにとっての初めての社会があります。そこでの関わりの中で感じ、学び、吸収したことが人格を形成する大切な力につながります。クラス毎に壁を作らず、全職員で全ての子どもを見る姿勢を大切に保育をしていきます。

## 行事予定

乳児お楽しみ会(0~2歳児)  
交通安全教室(3.4.5歳児)  
歯科検診・秋の健康診断(全園児)  
身体測定、避難訓練(全園児)

## 子どものつぶやき

~ 1歳児クラス ~

- ①園庭でダンゴムシを手のひらに乗せて  
みていると、落ちてしまいました。  
子ども「ダンゴムシがとけちゃった」
- ②アイスクリームを作っていたので  
どんな味が聞いてみると  
子ども「コショレート味だよ」

## 異年齢のかかわり (運動会ごっこ)

2歳児クラス~5歳児クラス

楽しかった運動会の翌週、みつばち組と幼児クラスがホールに集まって運動会ごっこをしました。

みつばち組の子どもたちは自分たちの音楽が流れると、みんなの前で得意そうに踊り、幼児クラスの子どもたちはそれを見ながら楽しそうに踊っています。幼児クラスのダンスの曲が流れてきたので、みつばち組の子に保育士が「一緒に踊ってみる？」と聞くとうなずいて立ち上がり、お兄さん、お姉さんのふりを見よう見まねで保育士と一緒に踊ってみると、楽しかったようで笑顔がこぼれていました。最後の親子ダンスではとんぼ組がみつばち組の手を引いて踊ってくれました。恥ずかしそうに手を引かれていましたが、担任が側にいる安心感とみんなが楽しく踊っている雰囲気の中で、自然とお互いの存在を受け入れながら運動会ごっこを楽しんでいました。

これからも自然と異年齢で関わっていけるような環境を作っていき、年下の子をいたわる気持ちや年上の子に憧れてやってみようとする姿を大切にしていきたいと思っています。



## 特集

今月は、幼児クラスの様子を紹介します。



### 幼児お楽しみ会🎵

劇:おむすびころりん 合奏・歌:ビビディ バビディ ブー

会が終わると「もっと見たかったね」「おもしろかったね」と子どもたちが話していました。でんでんむし組は、運動会で自分たちが踊った荒馬の「ラッセラー」の踊りが劇中に出てきたので、目をキラキラさせて見ていました。とんぼ組は、劇のお話を思い出して「なんであの場面でああ言ったのかな」と友達と物語について語り合う姿がありました。今では遊びの中で、「私がおばあさんね、(友達はお)じいさんね、先生はねずみね」と役割分担をしてごっこ遊びを楽しんでいます。

合奏では、初めて見る楽器をじっと見ていたり、楽しそうに体を揺らしたりしていました。大太鼓のドーンという音に驚いて耳を塞いでいる子もいましたが、保育士が音の大きさを調整して叩いていることに気づいたのか、よく聞き入っていました。

12月に、『にこにこ参観日』があります。幼児お楽しみ会を観たことで子どもたちが表現することを楽しくめるよう、各クラス工夫をしながら劇ごっこをしたり、手拍子をしたり楽器に触れながら合奏も楽しんでいきたいと思います。



### 芋掘り遠足の様子



先日、とんぼ組とこおろぎ組で埼玉県にある荒畑農園まで行ってきました。何本掘りたいか聞いたり楽しみにしているお弁当の中身を発表、クイズや音楽など、盛りだくさんのレクリエーションで道中のバスの中でも楽しく過ごしました。

サツマイモ畑に着き、土を少し掘ってみるとサツマイモが頭を出し「おいもあった」と目を輝かせていました。深くまで掘らないとなかなか抜けないサツマイモに「お芋獲れない」「誰か手伝って」という声が多く聞こえましたが、1本獲れると「見て、こんなに大きいよ」ととても嬉しそうでした。芋掘り後は楽しみにしていたお弁当です。バスの中で発表したものを見せ合ったり、「おいしい」と夢中で食べていたり、みんないい笑顔でのお弁当タイムになりました。

帰り道、バスから降りてからは自分で持ち帰るサツマイモの入ったリュックを背負って保育園まで帰ってきました。「重い」「首がとれそう…」と重そうではありましたが、「焼き芋がいい」「すいーとぼてと、作ってくれるって」など、家庭で食べることを楽しみに帰って来ました。

